

-----6月2日-----

※ 今週のアウトルック (6/2~6/6)

先週は前半、一時的に円安が進む場面もありましたが、レジスタンスは固く、後半は再び円高傾向が強くなりました。

今週は後半に米国雇用統計を控え、結果を睨んが展開となりそうですが、世界的な低金利の中、円高に進む可能性が幾分強いかもしれません。

ただ、いずれにしても大きなトレンドを作るような展開は、すぐには考えづらく、まだしばらくは膠着状態から抜け出せないように思います。

先週のドル円は、102円付近のレジスタンスに阻まれて、102円台に定着することなく、101円台後半で週末を迎えています。

今週は米国雇用統計の結果を睨んだ展開となりそうですが、いずれにしても今後のトレンドを作るような結果は想定しづらく、101円から102円のバンドをベースにした、膠着感が強い動きからは、まだ抜け出せない可能性が高いように思います。

ドル円の予想レンジは101円から102.5円です。

ユーロドルは1.36付近でなんとか留まっている感があります。ただ、この付近のサポートラインをベースに折り返す可能性は、幾分低いようにも思います。

一度1.35付近まで下落する可能性を想定しておいたほうが良いかもしれません。

その動きに合わせて、ユーロ円も137円付近まで下落する可能性を、考慮しておいたほうが良いように思います。

ユーロ円の予想レンジは137円から140円です。

ポンド円は、170円付近のサポートラインで、なんとか踏みとどまっているようです。ここを下抜けしなければ、早期に173円超えを狙う展開も考えられるように思います。

ポンド円の予想レンジは169円から173円です。

今週は週末の米国雇用統計の発表には、当然関心が集まりますが、欧米の要人による、今後の政策を示唆するような発言にも、

充分注意した方が良いでしょうと思います。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。